

いしづえ 1

第1学年 学年だより
NO.18

伊達市立伊達中学校 第1学年

2019. 9. 6 (金) 発行



合唱練習が始まりました！

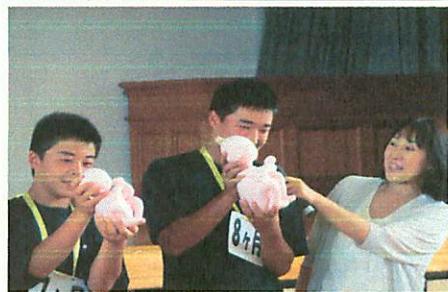
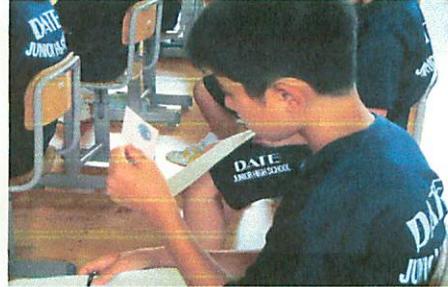
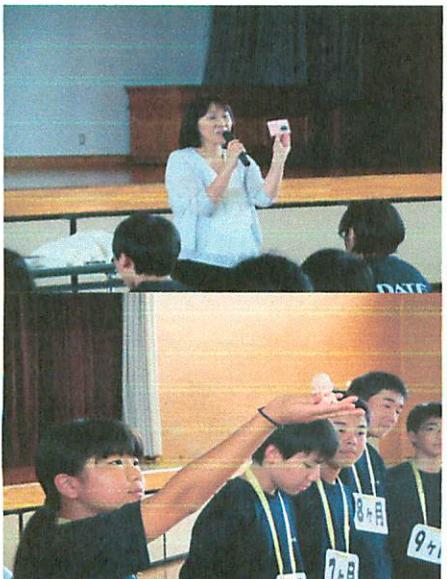
月曜日の総合の時間に、ほとんどの学級で合唱の練習が始まりました。音楽の授業以外の練習は初めてなので、音楽教科係やピアノ伴奏者、指揮者を中心に行っていました。教室の周りにパート毎に並んでいる学級やラーニングルームなど空いている部屋を使ってパート毎に練習する学級と学級毎に工夫して、パートの音取りを中心に行っていました。桃花祭の前に中体連新人戦、中間テストがあり練習時間がなかなか確保できなくなることもありますので、充実した練習にしてほしいと思います。学年リハーサル、本番が楽しみです。



性教育「生命の誕生」について講演を聞きました。

9月4日（水）の総合の時間に性教育講演会を開催し、大川レディースクリニックの助産師、長谷川洋子さんを講師に迎えて、「生命の誕生」についてお話を聞きました。「いのちの始まり」である受精卵の大きさは、紙に細い縫い針の先を刺した大きさで、その紙に光を当てるとかすかに光が通るくらいの大きさでした。その大きさから、胎児として成長していく様子を赤ちゃんの人形を使って示していただき、確かめることができました。また、赤ちゃんが骨盤を通って出生するときの様子を赤ちゃんの体の特徴を説明しながら、見せていただきました。

講演後の感想を紹介しますので、お読みください。（裏面）



1年1組 山口 天音さん

赤ちゃんを出産するまでの間、赤ちゃんも苦労していたということがわかり、自分が無事に生まれたことを幸せに思いました。

1年2組 佐藤 涼葉さん

こんな小さい形から自分が生まれたと知ってすごいなと思いました。「命を大切にしなければならないんだ。」ということがよくわかりました。

1年3組 神野太地さん

こんなに小さいのが最初の自分ということが驚きました。とても痛い陣痛などが55時間続いた人がいたのですごいなと思いました。
この講座で、この命がより尊く、大事なものだということがわかりました。

1年4組 新海 天河さん

生後数ヶ月で赤ちゃんは「何グラムなのか。」や赤ちゃんは無事に産まれくることが当たり前だと思っていましたが、命を落としたりするときもあることがわかり、大切な存在ということがわかりました。

お願い

令和3年度 修学旅行についての保護者アンケートを5日（木）に配付しましたので、12日（木）までにお子さんを通して、学級担任に提出くださいますようお願い致します。

来週の行事

9日(月)	Ⅱ期時間割開始
11日(水)	専門委員会 清掃、部活動なし 短縮
12日(木)	地区小中学校音楽祭第2部 吹奏楽部員弁当持参
13日(金)	生徒会立会演説会・選挙 清掃なし